

はやまエシカルアクション「マイタンブラーキャンペーン」の概要

1 背景と目的

葉山町行政では、これまで公共施設の自動販売機からペットボトル製品の販売の取りやめ、レジ袋の庁舎内への持込み禁止、新春の集いなどのイベントでプラ皿やプラカップをリユース食器や生分解性の食器を使用する等、使い捨てごみの削減に取り組んできました。マイバッグやマイボトルは一定、町民にも浸透してきており、またマイカトラリーを推奨するイベントなども見受けられます。その一方で、ドリンクのテイクアウト時におけるマイタンブラーの使用について、町内の一部の先進的に取り組んでいる店舗は見られるものの普及は十分ではありません。

こうした状況の中、マイタンブラー利用促進キャンペーンを実施することにより、行政と飲食店と連継して町内全体でこの取組みを展開し、町民へのマイタンブラー（マイカップを含む）の普及を促進することで、使い捨てカップの削減を図り、ひいては環境負荷の軽減を目指すことを目的とします。

2 キャンペーン内容

(1) 参加店舗の募集と役割

はやまエシカルアクションに賛同いただいている町内のカフェ、レストラン、テイクアウト店などにキャンペーンへの参加を呼びかけ、連継により、キャンペーン参加店舗（賛同約30店舗のうち目標10店舗。以下「参加店舗」という。）としてキャンペーンに参加していただきます。

参加店舗は、テイクアウト時のマイタンブラーの使用、オリジナルタンブラーの販売、チラシの配布などを行います。

また、インセンティブを強化するため、参加店舗により独自の特典（例：割引など）の設定を可とします。これにより、より多くの消費者がマイタンブラーを持参する習慣を身につけることを目指します。

(2) マイタンブラーキャンペーンの広報周知

町の広報紙やLINE公式アカウント、ホームページ、インスタグラム、チラシを使い、キャンペーンを広く周知します。チラシには参加店舗を掲載して宣伝することによって、参加店舗にメリットを感じてもらうほか、参加店舗でも広報していただき、葉山町全体での取組みを促進します。

また、キャンペーンチラシには、割引等の特典がある場合はその旨を記載することで、「マイタンブラーを受け付けてもらえるのか?」「メリットはあるのか?」という不安を解消し、マイタンブラーの利用を促します。

(3) 葉山オリジナルマイタンブラー作製

はやまエンカルアクションのロゴなどが入ったオリジナルマイタンブラーを作製します。町のイベント(例:南郷上ノ山公園キッチンカー、リユース市、ビッグハママーケット etc.)やキャンペーン参加店舗で販売します。

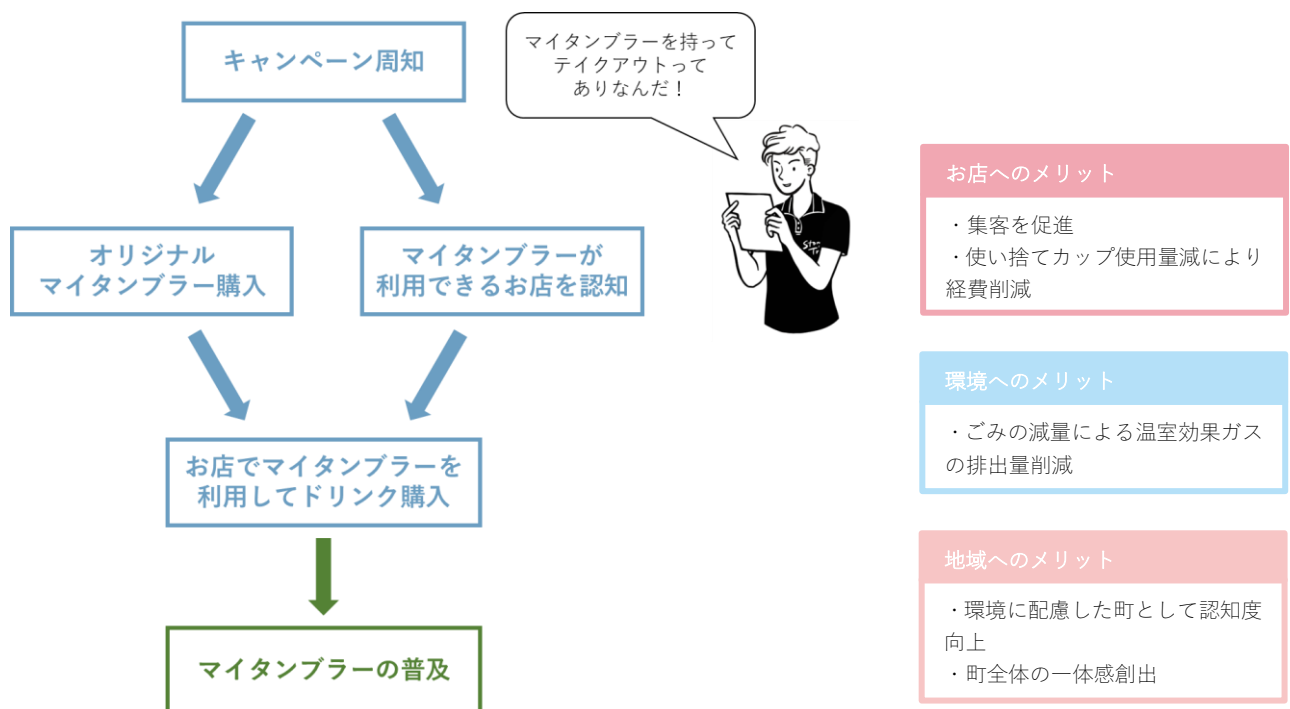
(4) 実績報告・公表

キャンペーン終了後、マイタンブラーの利用状況を参加店舗からご報告いただき、それをもとに使い捨て容器の削減量やマイタンブラー利用率などのデータをとりとまとめ、公表します。

図1. オリジナルマイタンブラーのイメージ



図2. キャンペーンの狙いとメリット



3 予算案

・歳出

内容	金額
試作品用タンブラー【消耗品費】	10,000円(税込)
合計	10,000円(税込)

4 期待される効果

- (1) マイタンブラーの普及
- (2) 使い捨て容器の削減による温室効果ガスの削減
- (3) 町民のはやまエシカルアクションの取組み促進
- (4) 町内飲食店の参加を通じた地域活性化と飲食店との連継強化

5 スケジュール

- (1) 令和7年4月：試作品用タンブラーの購入。はやまエシカルパートナーオフ会にてオリジナルタンブラーのデザイン決定
- (2) 6月：賛同事業者へ説明、参加事業者募集
- (3) 7月：オリジナルタンブラー・チラシ発注
- (4) 8月：広報活動開始
- (5) 9～12月：キャンペーン開始、タンブラー販売（ビッグハママーケット etc.）
- (6) 令和8年1月：参加店舗から実績報告、とりまとめ
- (7) 3月：公表